

まえがき

本報告書は、緑化生態研究室が令和3年度に行った調査・研究の概要ならびに、当研究室のスタッフが令和3年度に学会や雑誌などで発表した論文を収録したものです。

令和3年度に実施した調査・研究課題は、大きく以下の4テーマに分類されます。

- ① 樹木の管理と更新に関する研究
- ② 生物多様性の確保に関する研究
- ③ 良好な景観の形成に関する研究
- ④ 公共空間の分析と計画に関する研究

「① 樹木の管理と更新に関する研究」では、道路植栽地の適正な維持管理に関する研究を実施しました。

「② 生物多様性の確保に関する研究」では、地域環境特性に配慮したのり面緑化工に関する研究を実施しました。

「③ 良好な景観の形成に関する研究」では、質の高い公共デザインの枠組みと進め方に関する研究、歴史まちづくりの取組促進に資するプラットフォームの構築に関する研究を実施しました。

「④ 公共空間の分析と計画に関する研究」では、グリーンインフラの機能の定量評価及び現況調査の手法に関する研究、東日本大震災からの復興に係る津波防災緑地等整備の状況とその効果に関する研究、AI やIoT等の新技術を活用したパークマネジメント手法に関する研究を実施しました。

また、これまでの研究の一部を以下の国土技術政策総合研究所資料（以下、国総研資料）にとりまとめました。

- ・「都市公園における高齢者の健康づくり機能導入手法に関する技術資料（令和3年12月）」
(国総研資料第1176号)
- ・「都市公園における子育て支援機能導入手法に関する技術資料（令和4年3月）」
(国総研資料第1192号)

いま、国土や社会資本を取り巻く状況は大きく変化している状況下で、緑化生態研究室は、地球規模の環境問題を踏まえつつ、自然と人間の共生する持続的な国土の形成、環境と調和した社会の実現に向けて、今後も研究に邁進する所存であります。

皆様におかれましては、多岐にわたる当室の調査・研究の概要等を集約した本報告書を通じて、当室の取り組みへのご理解を深めていただくとともに、引き続き変わらぬご指導、ご支援をいただければ幸いです。

令和4年10月

国土交通省 国土技術政策総合研究所
社会資本マネジメント研究センター
緑化生態研究室長 松本 浩